学校番号	1202

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	（学）検定簿記演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	日商簿記検定模擬試験問題集３級　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

簿記の学習は反復・徹底することが効果的であることから、問題集を使って総合的な理解の徹底をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
簿記に関する知識と技術を習得させ、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。
【思考力、判断力、表現力等】
財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させる。
【学びに向かう力、人間性等】
日商簿記３級の内容が理解できる能力を身につけさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	簿記に関する理論的な知識と技術にとどまらず、日商簿記検定に合格できる知識と技術が身についている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と実務に適用することにともなう課題を見いだすとともに、簿記に関する理論、企業活動の流れなどに対応する力が身についている。	記帳・決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任をもって取り組む態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	仕訳・補助簿および勘定記入	現金・有価証券、商品・内金・手形、その他の債権・債務、固定資産、資本・税金・その他訂正の仕訳 当座預金・当座借越の勘定記入、商品有高帳、受取手形記入帳、支払手形記入帳、売掛金元帳・買掛金元帳、小口現金出納帳	a:仕訳が理解できたか 補助簿の理解ができたか b:問題を間違えたときにどのように対処するか c:解答に主体的に取り組めたか	模擬試験問題	課題提出	取り組み姿勢
2学期	伝票および訂正仕訳・精算表	伝票、決算仕訳・訂正仕訳、資本金・引出金の勘定記入 整理事項による作成	a:取引から伝票に記入できたか 整理事項から精算表が作成できたか b:問題を間違えたときにどのように対処するか c:解答に主体的に取り組めたか	模擬試験問題	課題提出	取り組み姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度